

第三章 トヨタグループの 成立と変容

(汎太平洋平和博覧会から終戦まで)

Chapter 3 Organization and transformation of Toyota Group

(From Nagoya Pan-Pacific Peace Exposition to the end of the War)

繊維機械や自動車で力をつけ始めたトヨタグループは、1937年、汎太平洋平和博覧会で、初めて対外的なPRを実施しました。しかし、それも束の間、同年に日中戦争が勃発し、第二次世界大戦へと戦争が拡大します。戦時中の経営権は国に奪われ、工場生産がままならない状況の中、“戦争が終われば自動車事業を再興できる”と信じ、研究開発と生産準備を着々と進めていました。

Toyota Group thriving with the manufacture of textile machines and automobiles enjoyed its first opportunity to advertise itself to open public at Nagoya Pan-Pacific Peace Exposition held in 1937. The celebratory mood, however, did not last long as the Sino-Japanese War broke out the same year, and the conflict developed into World War II. The company ownership during the War was deprived by the State, and the plants could not be operated fully. Even in such a situation, research, development, and production preparations were steadily promoted in the belief that the “automobile business would be revived once the War is over.”

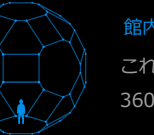
日中戦争から第二次世界大戦へと戦火が拡大していった時代です。
「人・もの・カネ」を国に集約する法律や、民間の企業を軍需工場に転換する法律などが次羅ぎ早に規定されます。
民間企業は自らの意思にかかわらず、合併や分離独立、事業転換などを強いられました。もちろん、トヨタグループもその例外ではありませんでした。

- 1936年 自動車製造事業法公布(国が自動車製造を統制)
- 1937年 名古屋汎太平洋平和博覧会開催(3-5月)
日中戦争勃発
戦時統制三法公布
(国が戦争に向け「人・もの・カネ」を集約できる法律)
- 1938年 航空機製造事業法、工作機械製造事業法公布
国家総動員法施行
(総力戦遂行のため国家のすべての人的・物的資源を政府が統制運用できる法律)
商工省通達による乗用車製造の原則禁止
- 1939年 第二次世界大戦勃発(〜1945年8月)
- 1940年 民間用大型トラック集合自動車の配給統制実施
日独伊三国同盟
小型トラックの配給統制実施
- 1941年 事実上の貿易停止、アメリカが対日石油輸出を全面禁止
- 1942年 外国製乗用車販売禁止
- 1943年 軍需会社法施行
- 1944年 自動車製造各社、軍需会社に指定
- 1945年 終戦

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.